

## 研究活動報告

### 日本人口学会2011年度・第2回東日本地域部会

日本人口学会2011年度第2回東日本地域部会は、2012年3月23日(金)、青山学院大学青山キャンパス(東京都渋谷区)にて開催された。報告タイトルと発表者は下記の通りである。

1. 井上 希(青山学院大学・院)：定量分析による過疎地域の雇用成長格差の解明
2. 工藤 豪(日本大学)：未婚化・晩婚化における地域差の動向—岩手県を中心にして
3. 長谷川普一(新潟市 GIS センター)：GIS を用いて全住民位置情報を作成し災害対応へ活用した相馬市の事例
4. 鎌田健司(国立社会保障・人口問題研究所)：人口分布を考慮した空間補間法の検討
5. 小池司朗(国立社会保障・人口問題研究所)：戦前市町村別人口動態の空間分析—東北地方における出生・死亡の変動パターン
6. 井上 孝(青山学院大学)：人口分布を考慮した新しいアクセシビリティ測定
7. 阿部 隆(日本女子大学)：東日本大震災発生後の人口移動—災害の人口地理学

今回の東日本地域部会のメインテーマは、地域人口分析および GIS の利活用であったが、当日は地域部会としては異例の27名もの参加者が集まり、当分野への関心の高さが窺われた。また報告内容もオリジナリティの高いものが多く、活発な質疑応答が交わされた。(小池司朗記)

### 2012年日本地理学会春季学術大会

2012年日本地理学会春季学術大会は、2012年3月28日~30日(30日は巡検のみ)、首都大学東京(東京都八王子市)において開催された。一般発表186件、ポスター発表72件が行われた。この他に33件の発表からなる5つのシンポジウム、2件の講演からなる1つの公開講座、特別講演会、15件の発表からなる研究集会在開かれた。以下に主な人口関連の発表タイトルを記す。

- 「首都圏における子供の多い世帯の分布の地域差とその要因」……佐藤将(横浜市立大学・院生)
- 「合併後の市町村における周辺部の過疎化の検証」……畠山輝雄(日本大学)
- 「2010年都道府県別高齢者死亡率の季節変化」……北島晴美(信州大学)
- 太田節子(信州医療福祉専門学校)
- 『人口密度ポテンシャル』を導入した東南アジア大陸部人口密度分布の分析」…梅川通久(東京外語大学)
- 「六大都市における小地域人口統計データベースの利用可能性
- 都市の居住地域構造研究との関連を中心に—」……桐村喬(立命館大学・PD)
- 「首都圏郊外における地主の土地利用とその変遷」……西山弘泰(明治大学・院生)
- 「大都市圏外縁部における人口減少下の地域再編—埼玉県北部地域を事例に」…伊藤徹哉(立正大学)
- 岩間信之(茨城キリスト大学)
- 平井誠(神奈川大学)